

第3回 備蓄米の随意契約開始(20万t) 25.06.10発表

小泉農林水産大臣は、6月10日の閣議後定例会見で、新たに計20万t(3年産10万t+2年産10万t)の政府備蓄米を随意契約で売り渡すと発表。

まずは、3年産10万tと中小スーパー枠の残2万t(3年産)を対象に、11日(水)から第3回受付を開始。参加資格者は、大手小売・米穀店・中小スーパーで、申込数量上限はない。今まで申し込んだ事業者が再度申し込むことも可能。

全量放出した場合、備蓄米の在庫は約10万tとなる(元~2年産5万t/5年産2万t/6年産3万t程度とみられる)。

【備蓄米】第2回随意契約結果(6/9発表)

6月9日18時時点の第2回随意契約の進捗状況。

- ①米穀店枠166社8,759t
- ②中小小売枠128社2万3,514t。

市場価格推移(スポット)	産地置場				単位:百円
	3/31	4/30	5/30	6/11	
新潟魚沼コシ	490-491	490-491	500-501	380-381	
新潟コシ	480-481	480-481	495-496	375-376	
秋田こまち	470-471	470-471	470-471	395-396	
宮城ひとめ	460-461	460-461	475-476	355-356	
茨城コシ	455-456	465-466	480-481	360-361	

スーパーの販売数量・価格推移(5月26~6月1日) 2週連続の下落 (農林水産省6/9発表)

全国平均価格(5kg税込)は、前週比▲37円(0.9%)の 4,223円。2週連続で下落。前年同期比では、+2,087円(97.7%)。なお、2週連続での下落は昨年11月25日の週以来、26週ぶり。また、「ブレンド米等」(備蓄米/PB商品も含む)のシェアは前週から+3ptの 39%まで伸ばしており、3月10~16日の週(シェア19%)からの2か月半でみれば+20ptに。平均価格は、「ブレンド米等」 3,898円(前週比▲20円=0.5%)、「銘柄米」4,428円(▲25円=0.6%)。「ブレンド米等」と「銘柄米」の価格差は530円。

